

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 公共の扉をひらく 第1章 公共的な空間をつくる私たち ・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 file 1 職業の選択とライフコース 3 哲学の始源と発展 ーギリシャ思想 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想（1）一仏教 6 東洋の宗教と思想（2）一儒教 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み file 2 伝統芸能と日本的な美意識	【知識・技能】【思考・判断・表現】統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	○	○	○	5
	第1編 公共の扉をひらく 第2章 公共的な空間における人間 ・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	・指導事項 1 義務論と功利主義 file 3 思考実験 2 生命倫理 file 4 代理出産を認めるべきか 3 環境倫理 file 5 環境を守るために何ができるか	【知識・技能】【思考・判断・表現】ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第1編 公共の扉をひらく 第3章 公共的な空間における基本的原理 ・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 ・ハーバースマスやアーレント、ロールズの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。	・指導事項 1 近代的人間像の誕生（1）ー近代の始まり file 6 近代的人間像の誕生（2）ー科学的な思考 2 国家社会と人間性（1）ー社会契約説 3 国家社会と人間性（2）ーヘーゲルとマルクス 4 国家社会と人間性（3）ー実存主義 5 公共性の復権と他者についての思考	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料・著作物などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート	○	○	○	8
	第2編 基本的人権の尊重と法 第1章 民主政治の原理 ・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。	・指導事項 1 近代国家と立憲主義 file 7 法の意義と役割 2 日本国憲法の成立 file 8 憲法改正について考えよう	【知識・技能】憲法・原典資料などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ディスカッション、レポート	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	第2編 基本的人権の尊重と法 第2章 人権の尊重と日本国憲法 ・日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる。 ・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。 ・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	・指導事項 1 日本国憲法の三原理と人権保障 2 平和主義と国際社会 3 平等権 4 自由権 file9 多様化する社会の人権 ① file10 多様化する社会の人権 ② 5 社会権 6 参政権の保障と国務請求権 7 新しい人権 file11 多様化する家族について考えよう 8 グローバル化と国際人権	【知識・技能】憲法・人権諸条約・新聞などから				7
	第3編 現代の民主政治と社会参画 第1章 民主政治の成立と課題 ・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解させる。 ・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めさせる。	・指導事項 1 自由民主主義の成立と危機 2 現代の民主主義と課題 file12 世界の政治制度 3 世論の形成と民主社会 file13 情報モラルについて 4 政治参加と主権者（有権者） 5 選挙と政党 file13 選挙に行こう！	【知識・技能】新聞などからの読み取り、ワ				4
	定期考査			○	○		1
	第3編 現代の民主政治と社会参画 第2章 日本の政治機構 ・国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。 ・司法制度の仕組みと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。 ・地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。	・指導事項 1 国会の役割としくみ 2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と司法参加 file15 刑罰・更正と死刑制度 5 地方自治と住民の生活 file16 外国人住民の多い街	【知識・技能】憲法・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】【思考・判断・表現】ディスカッション、模擬活動（模擬国会や模擬裁判など）				4

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第3編 現代の民主政治と社会参画 第3章 国際政治のしくみと役割 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。 ・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。	・指導事項 1 国際政治の成り立ち 2 国際連合の設立とその役割 file17 国際連合の主要機関と課題 3 冷戦とその終焉 4 軍縮と安全保障 5 リージョナリズム 6 グローバル化と国家	【知識・技能】国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ディスカッション、模擬活動（模擬国連など）	○	○	○	4
	第3編 現代の民主政治と社会参画 第4章 国際政治の現状と課題 ・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。 ・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 現代の紛争 file18 パレスチナ問題について考えよう 2 多文化・多民族社会に向けて 3 移民と難民 file19 難民問題 4 日本の戦後外交と課題 file20 原爆の記憶とその継承	【知識・技能】国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート	○	○	○	4
	第4編 現代の経済社会と国民生活 第1章 私たちと経済活動 ・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 私たちと経済 file21 消費者の権利と責任 2 仕事と社会 file22 学びの力 3 国民経済とGDP	【知識・技能】新聞などを使ったワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	第4編 現代の経済社会と国民生活 第2章 経済社会のしくみと役割 ・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。 ・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。 ・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 社会のしくみとしての市場 2 市場の機能 file23 需要曲線・供給曲線 file24 経済を考える視点 市場経済の歴史 3 市場の限界 4 金融とそのはたらき 5 財政とそのはたらき file25 日本経済のあゆみ 6 現代の企業 file26 もしも会社をつくるなら file27 公害の防止と環境保全 7 労働問題 8 社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性	【知識・技能】新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、模擬活動（模擬投資、模擬起業など）	○	○	○	7
	第4編 現代の経済社会と国民生活 第3章 国際経済の現状と課題 ・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。	・指導事項 1 国際取り引きと国際収支 2 自由経済とグローバル化 file28 外国為替と円高・円安 3 国際経済のこれから file29 国際経済と新興国 file30 限りある資源とエネルギー	【知識・技能】統計データ・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート	○	○	○	4
	第5編 持続可能な社会をつくる課題編 ともに生きる社会をめざして ・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察させる。 ・持続可能な社会づくりを担う、公共の精神をもった自立した主体として、主体的に社会に参画し、共に生きる社会を築くという姿勢を身につけさせる。	・指導事項 Theme 1 人間は人工知能（AI）とどのように共存すればよいのか？ Theme 2 何のために環境を守るのか？ Theme 3 食料と水資源の配分をどう考えるか？ Theme 4 少子高齢化と社会保障の問題を考える Theme 5 地域とつながり、地域に生きる、地域社会との接点	【知識・技能】統計データ、著作物、新聞などからの読み取り、ワークシート 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	○	○	○	6
							合計 75